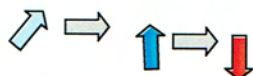


1. 2014 年度の総括



① 収支状況（表中の単位：千円）

決算見込み		予算比 (%)	前年比
収入	53,503	95.5%	
支出	56,461	94.3%	
経常収支差額	-2,958		

評価：4月～登録18名スタートと出遅れ、急なご逝去及び施設入居により更に登録減となる。補正予算を組むが2月以降も伸び悩み300万円程の赤字となることが予想される。



② 職員配置と研修（職員数は2015年1月現在）

常勤：5人、非常勤：10人、非常勤看護師：1人、営繕：2人。契約職員の退職、常勤職員の処遇変更により、その部分が欠員となっているが、同時に収入も減っているため補充はせず。

③ 事業内容

年間行事自体は昨年度と大きく変わらず。しかし、一つひとつの行事に対して「目的意識」が強化された1年であったと感じる。また、常勤会議、全体会議を月に1回定例で開催することによって今まで以上に情報共有や方向性の確認がはかれた。

④ 品質管理

ひやりはつにおいて、服薬や訪問サービスが抜けてしまう、といった内容が多い。毎日のように職員が入れ替わる事業において、日々変更する支援への対応と情報共有は引き続きの課題である。また、品質アンケートの中でも毎年のように「やることがない、退屈」などのご意見をいただいているので、改善に向けての具体的な取り組みを考え、環境整備に努めていく。

2. 2015 年度の計画

① 予算案のポイント

費目	予算(単位:千円)	前年比	算出根拠・購入物品など
収入	60500		4月～20名スタートが予想される。年間通して登録平均が20～21名を目標とし、2014年度の収入を基に、改正による新たな加算（訪問加算など）の算定もふまえ、現実的な数字とした。数字の根拠としては、登録20名で一月に約520万円前後の収入が見込める。入院や入所、死去などで誤差は予測されるが、1年を通して左記記載の収益を目標とし、地域のニーズを吸い上げていくためにも、発信力を強化していく。

2. 2015年度の計画

① 予算案のポイント

費目	予算(単位:千円)	前年比	算出根拠・購入物品など
収入	167,000	↑	31床稼働を継続し、短期入所の新規拡大で稼働向上を図る。
支出	164,997	⇒	非常勤職員の雇用をし、派遣職員の活用を最小限にしていく。 10年以上使用の家具・電化製品の修理, 入れ替えが予測される。

② 主課題 「生活を本人にもっていただく・かえしていく」

① 入居者さんの生活を本人にもっていただく・かえしていく

⇒一人ひとりに合った自分なりの生活をもっていただけるように、入居者さんと一緒に「日々の暮らし」を考えていく。施設の生活で、自由が無くなり、職員や施設に遠慮や気を遣うのではなく、「出来る力」を最大限に発揮し、自分なりの生活を送って頂けるように実践を行っていく。

② 他部署・地域との繋がり・連携強化

⇒法人内で、互いの利用者さん・そこで働く職員を知っている関係性を築いていきたい。施設内外を利用者さんが気軽に行き来できるサービスの枠を超えた関係作りを目標とする。

⇒地域に馴染みのある入居者さんを中心に、個別での老人会の参加・地域の資源や活動に積極的に、入居者さんと一緒に参加、取り組みできるように幅を広げていく。

③ 人材育成(実践者の育成)

⇒主課題を意識した実践者を一人でも多く育成していき、「生活」についての理解を深めていくことで、入居者さんの生活を自分らしく過ごせる一歩にしていく。入居者さんや家族さんにどのように生活したいかを聞き、自分自身で生活を見て、考え、実践を通して、振り返っていく育成を目指す。

④ 平均的な稼働率安定

⇒居室の空床が出た時点で、1週間以内に入居出来る体制の確保。事前に情報収集を行う。短期入所については新規利用者拡大・緊急時の積極的な受け入れを行っていく。

③ 年間事業計画(予定)

4月	お花見・造幣局の通り抜け(他部署合同)	10月	運動会・作品展&バザー
5月	母の日	11月	バイキング
6月	父の日・住吉大社お田植え祭	12月	クリスマス
7月	花火大会	1月	新年会
8月	納涼祭・盆踊り	2月	節分
9月	敬老会	3月	ふらっと楽しむ住吉
その他行事⇒ユニット・個別・外出企画の充実・イベント食・日曜ワイワイ・クラブ活動など			
研修⇒生活支援の研修・居住系合同研修(であい合同)・新人研修・法人研修・部門内研修など			
外部研修⇒認知症介護実践者研修・ユニットケア全国実践者セミナー・宅老連研修・社福実習指導者研修など			